



医学セクション レントブリーフ

2025年復活祭

おお、神霊よ、われを満たせ、
わが魂にてわれを満たせ；
わが魂に力を授けよ、
わが心臓にも力を授けよ、
わが心臓はあなたを求める、
深き憧憬を通して求める、
健康への深き憧憬、
健康と勇気への憧憬、
私が役立ちうること
生命のために役立ちうることへの勇気

ルドルフ・シュタイナー GA 268



ドルナッハの春の風景と、ゲーテアヌムで開催されたルドルフ・シュタイナー没後100年記念展の開幕の様子。すべての部門(セクション)がエントランスホールの大きな展示パネルで紹介されています。

親愛なる同僚の皆さま、親愛なる友人の皆さま、

このイースターの時期、ルドルフ・シュタイナーが精神界へと旅立ってから100年を迎えます。これは何よりも深い感謝の時であるといえます。私たちは非常に多くを受け取りましたが、それでもなお、この深くて人間な医学を世界と分かち合うまでに、私たちはまだ始まりに立ったにすぎないことを感じます。

この大きな節目の後、まもなくシュタイナーの書籍、講演、瞑想の言葉、書簡のすべてがーさしあたりドイツ語で一出版されることとなります。シュタイナーが伝えたすべてを蒐集し、記録することは、本当に大変な仕事でした。予期せぬ手紙の束や未知の原稿が発見されない限り、私たちは彼が遺したすべての記録にアクセスできるようになったのです。これは一つの完結を意味します。

シュタイナーは世紀の節目について次のように語っています。ある考えや行為の種子は成熟するのに33年を要し、その成熟の後にもさらに66年間、「歴史的進化」の中で作用し続けるというのです。「人間が歴史的生成の中へ据えた衝動の強さは、3世代、つ

まり100年を通してのその作用において明らかになるのです。」(1917年12月26日の講演、GA 180)

したがって、私たちはこのように問いかけることができます。：運動が展開した1世紀、記録と出版が続いた1世紀の後、私たちは今、どこに立っているのだろうか、と。時として、私たちのアントロポゾフィーの活動を取り巻く精神的な覆いが薄くなっているように感じられます。これは、シュタイナーが述べた33年周期と99年周期の影響による変化と捉えることができるかもしれません。では、私たちはどこへ向かうべきなのでしょう？

一つの答えは、私たちの使命は単に過去を保存することではなく、積極的に未来へ関与することであることを、自分自身に対して確認することです。そのためには、私たちの四肢(手足)を使わなければなりません。それは「出会い」を通してなされます。私たちの頭部は過去の刻印であり表現であるのに対して、私たちの出会いはつねに、未来へのカルマの種を撒き続けています。

シュタイナーの生涯を振り返ると、彼は単なる多作な講演者や作家であっただけではなく、他者との出会いの場において非常に活発に活動した人物であったことがわかります。彼はつねに旅をし、多くの場所を訪れ、講演を行うだけでなく、多くの人々と対話し、助言を与えました。シュタイナーは四肢の特別な意味について語っています。

「皆さんは歩き回り、他の存在との関係性の中へ入ります。あなたの手や足が行うすべてを描きだし、一生のうちにあなたの手足、腕や脚が行ったことを一枚の絵に描くとすれば―それは非常に動きのある絵となるでしょう―、その絵の中にはある複雑な地図が見えてくることでしょう。そこから皆さんは、皆さんの来世のためにカルマ的に蓄えられているものをたくさん読みとることができるでしょう。」(1918年8月25日、第5講演、GA 183)

私たちはみな、アントロポゾフィーの出会いの連鎖の一部であり、それが今、第二の世紀へと進んでいます。何世代にもわたる四肢の活動の流れが、さらに未来へとつながっていくのです。

私たちの精神科学との取り組みは、読書や研究を通じて行われるだけでなく、私たちに教えや課題をもたらし、私たちとともに働き、また私たちから学ぶ他の人々との出会いを通して生じます。私たちの医学運動を成り立たせているのは理念だけではなく、世界のいたるところで起こっているさまざまな活動なのです。

さらに大きな運動を思い描いてみましょう―私たちの共通の手や足、腕や脚が成し遂げること、その未来に向けての意味を絵として描いてみましょう。

「ここにあるのは腕と手、脚と足です。しかし、それは精神的なもの、霊的な力なのです。[...]もし皆さんがそうした腕や手、脚や足しか持っていなかったら、それらを目で見ることはできません。それを満たすものがあるのです。それらの力は体液や血液に満たされます。[...]目に見えないものを満たす鉱物のかたまり[身体図に斜線が引かれる]、それが目に見えるところです。あなたが墓の中に残すもの、火葬されるものは、単に[...]単なる鉱物的な含有物に過ぎません」(1918年8月26日の第6講演、GA 183)

これは、私たちが毎年、復活祭の時期に遭遇する「古い殻」と「新しい生命」の経験を映しだしています。関係を反映しています。

私たちの仕事にとっても、「鉱物的な実質」が必要です。それが背後にある巨大な精神活動―私たちの仕事を担い、証しする精神活動―を満たし、目に見えるものにするために必要であること、そのことを思い起こすことができます。そのようにして、私たちは、ルドルフ・シュタイナーに対して、そして彼の助けによって私たちが人生と地球にもたらす深遠な精神性に対して、深い感謝の意を表したいと思えます。

心からのご挨拶とともに

アダム・ブラニング、マリオン・デーブス、カーリン・ミヒャエル

お知らせ

力強い共同体: フィルダークリニック50周年、ヘルデッケ共同体病院55周年: フィルダークリニック(ドイツ)が50周年を迎えるにあたり、アントロポゾフィー医学の力強い確立に心よりお祝い申し上げます。1975年、フィルダークリニックはドイツで2番目のアントロポゾフィー病院として、地域および広域の患者を受け入れる施設として開院しました。2024年末、ヘルデッケ共同体病院(ドイツ)は55周年の記念祭を祝いました。現代的な急性総合医療の素晴らしい発展が今後も続くことを願っています!

『精神科学と医学』の註釈本第4巻が刊行されました(ドイツ語): GA 312の講義6と7の解説付き。「本書は、816ページにわたり、数多くの図版を交えて、植物、人間、人生の経過、生理学、病理学における星の働きに関するシュタイナーの表現の深さと複雑さを現在の文脈で適切に伝えようと試みています」と編集者は記しています。総勢40人の同僚が専門知識と温かい情熱をもって貢献しました。これらの講義内容の徹底的な解説に対して、ピーター・ホイッセ、レネ・エーバースバッハ、トム・シェファーズ、ヨハネス・ヴァインツィル、ならびに共著者の方々に感謝いたします(参考文献の欄もご覧ください)。

ルドルフ・シュタイナーの100回目の命日を記念するELIANT会議: 2025年5月20日、ブリュッセルの王立図書館(ベルギー)で「欧州のための健康革新 Healthy Innovations for Europe」というテーマのもと、発展志向のプログラムが開催されます。アントロポゾフィー医学は「世界の統合医療と健康な医療システムへの貢献」というパネルで参加します。会議の言語は英語で、同時通訳がドイツ語、フランス語、スペイン語で提供されます。参加は、オンライン参加も含め、登録後無料です (<https://eliant.eu/en/news/healthy-innovations-for-europe/>)。

アントロポゾフィー医学の医師セミナー(ベルリン/ドイツ): 2025年から2027年にかけて、ハーヴェルヘーエ共同体病院の新たな取り組みとして、医師や医学生を対象とする養成コースが提供されます。セミナーは12週間のモジュールにわたって行われます。詳細については、aerzteseminar.berlin@po-steo.deまたは +49 (0)177 7122 812 までお問い合わせください。すべての認定された医師の養成・研修については、医学セクションのウェブサイトをご覧ください: <https://medsektion.goetheanum.ch/weiterbildung/weiterbildung-in-anthroposophischer-medicin>。

追悼

ダニエル・ルーカス **Dania Lucas**: 1954年5月21日生まれ、2025年3月2日アルゼンチンで逝去。彼女は心理学者として、アルゼンチンにおけるアントロポゾフィー的な治療教育および社会療法運動に精力的に尽力しました。アルゼンチン・アントロポゾフィー心理学協会(AAPsiA El Crisol)の設立にも心血を注ぎました。彼女の多言語能力は、特にアントロポゾフィー医学において、言語的な架け橋を築く力となりました。私たちは愛する同僚であり友人である彼女を偲び、彼女が精神界から太陽のように働きかけてくれることを願っています。

アンスロメディクス ANTHROMEDICS

アントロポゾフィー心理療法の国際グループは、数年にわたり、医学セクションのCare-IIIグループとして、トラウマ治療の症例報告などに取り組んでいます。すでに注目すべき症例集が私たちの専門ポータル「Anthromedics」に公開されています: <https://www.anthromedics.org/PRA-0557-EN> リンク先の<https://www.anthromedics.org/all-english-articles>では、すべての英語の記事を見ることができます。

同じサービスは、すべてのスペイン語の記事についてもポータルで提供されています: <https://www.anthromedics.org/all-spanish-articles>

ご関心のあるアントロポゾフィー医学の分野を、こちらでご覧ください: <https://www.anthromedics.org/>

おすすめの文献



Peter Heusser, René Ebersbach, Tom Scheffers, Johannes Weinzirl (Hg.): Erläuterungen zum ersten Ärztekurs Rudolf Steiners 1920. Vorträge 6 und 7. Studienkommentare zum medizinischen Werk Rudolf Steiners „Geisteswissenschaft und Medizin“ (GA 312), Berlin und Dornach 2025.

ペーター・ホイサー、ルネ・エーベルスバッハ、トム・

シェファース、ヨハネス・ヴァインツィルル(編): ルドルフ・シュタイナーの最初の医師講座1920年の註釈。第6および第7講義。ルドルフ・シュタイナーの医学的著作『精神科学と医学』(GA 312)への研究解説、ベルリンおよびドルナッハ、2025年。

この巻では、植物、金属、動物、人間と惑星的宇宙との関連、および黄道十二宮との関連が新たな主題として紹介されています。



Rudolf Steiner, Michaela Glöckler, Christian Clement (Hg.): Schriften zur Anthroposophischen Medizin: Grundlegendes für eine Erweiterung der Heilkunst. Schriften Kritische Ausgabe (SKA) Bd. 15, Stuttgart 2025.

ルドルフ・シュタイナー、ミハエラ・グレックラ、クリスティアン・クレメント(編): アントロポゾフィー医学関連書籍:『医術拡張の基礎』。批判的出版(SKA)第15巻、シュトゥットガルト、2025年。

ルドルフ・シュタイナーとイタ・ヴェークマンによって書かれたこの本は、アントロポゾフィーに基づく医学へのアプローチを、精神的に基礎づけられた医術として示す基礎文献です。それは、アントロポゾフィー的な治療学の基礎を理論的に示すだけでなく、アントロポゾフィーの根底にある人間観察の特定の方法に習熟するための実践的な修行の書としても理解されます。

Anna-Katharina Dehmelt, Jens Heisterkamp (Hg.): Die großen Ideen der Anthroposophie. Zentrale Themen Rudolf Steiners in Essays und Gesprächen, Frankfurt a. M. 2025. アンナ=カタリーナ・デムメルト、イェンス・ハイステルカンプ(編): アントロポゾフィーの壮大なアイデア。ルドルフ・シュタイナーの中心テーマをめぐるエッセイと対話、フランクフルト・アム・マイン、2025年。



Anna-Katharina Dehmelt, Jens Heisterkamp (Hg.): Die großen Ideen der Anthroposophie. Zentrale Themen Rudolf Steiners in Essays und Gesprächen, Frankfurt a. M. 2025. アンナ=カタリーナ・デムメルト、イェンス・ハイステルカンプ(編): アントロポゾフィーの壮大なアイデア。ルドルフ・シュタイナーの中心テーマをめぐるエッセイと対話、フランクフルト・アム・マイン、2025年。

カーリン・ミハエルとフランク・マイヤーによるアントロポゾフィー人間学と医学に関する寄稿が収録されています。

カーリン・ミハエルとフランク・マイヤーによるアントロポゾフィー人間学と医学に関する寄稿が収録されています。



Christa Slezak-Schindler, Otto Ph. Sponsel-Slezak: Gesundheits-helfer I und II. Elemente der heilkünstlerischen Sprachgestaltung. Sprach-Kunst-Karten, Bad Liebenzell 2024.

クリスタ・スレザック=シンドラー、オットー・フィリップ・スポンゼル=スレザック: 健康の助け手 I & II。言語造形療法の要素。言語・芸術カード、バート・リーベンツェル、2024年。すべてを精神化すること、そ

クリスタ・スレザック=シンドラー、オットー・フィリップ・スポンゼル=スレザック: 健康の助け手 I & II。言語造形療法の要素。言語・芸術カード、バート・リーベンツェル、2024年。すべてを精神化すること、そ

れが健康をもたらす(ルドルフ・シュタイナー、1907年12月5日)



Christine van Draanen: Eurythmy for Bees. Animals – Mammals – Pets. Co-authors: Sabrina Menestrina, Markus Steiner, Sarah Weber, Mailin Wölki. Foreword by David Martin. Afterword by Johannes Wirz, Brave New Books (NL) 2025. クリスティーネ・ヴァン・ドラアーネン:ミツバチのためのオイリュト

ミー。動物 - 哺乳類 - ペット。共著者:サブリナ・メネストリーナ、マルクス・シュタイナー、サラ・ヴェーバー、マイリン・ヴェルキ。序文:デヴィッド・マーティン。後書き:ヨハネス・ウィルツ、ブレイブ・ニュー・ブックス(オランダ)、2025年。

本書では、著者と彼女の国際的な獣医師およびオイリュトミストのチームが、このアプローチがどのように機能するかについての概要を示しています。購入先: christinevandraanen@gmail.com。

2025年の催し

4月11日～14日:国際コリスコ会議「大きな期待。自己、互い、そして生命に対する期待の挑戦に向き合う」。基調講演:アダム・ブラニング、クリス・バーク、アンネ・デ・ヴィルト。詳細: kolisko2025@gmail.com。

4月25日～27日:第25回国際統合獣医学会議、ドイツ・ニュルンベルク。アントロポゾフィー獣医学からの発表を含む。プログラムと申込み: <https://t1p.de/9udic>。

5月3日/4日、6月28日/29日、10月25日/26日:ケースヒストリーから学べること - 「Fundamentals of Therapy」(GA27)100年記念、アダム・ブラニングによる3回のオンライン講義(英語、ドイツ語、スペイン語、マンダリン翻訳付)。事前申込み: <https://for.ms.office.com/e/g56vfQ5wYd>。

5月21日:アントロポゾフィー医学のグランドラウンズ、オンライン - 世界各地をつないで - 英語。主要治療トピックの研究アップデート、第3回セッション:「AM研究会議のハイライト。身体的および精神的健康ケアにおける温熱と体温調節の役割」。詳細: <https://medicalsection.goetheanum.ch/events>。

6月6日～9日:「各セクションの自由大学 - 未来の文明のためのルドルフ・シュタイナーの精神的衝動」、ゲーテアヌム、スイス・ドルナッハ。マリオン・デーブス、クリスティーネ・ハイド、カーリン・ミヒャエル、ペーター・ゼルク、ヤン・ゲッセル他。プログラムと申込み: https://goetheanum.ch/en/events/whitsun_2025。

6月12日～14日:国際リズムマッサー治療法シンポジウム、チェコ・プラハ。テーマ、講師、申込み: <https://t1p.de/jue8l>。

6月20日～22日:司牧医学会議「…カルマにおいて乱されたものが秩序を取り戻すために」ゲーテアヌム、スイス・ドルナッハ。医師、医学生、司祭、およびプリースターゼミナールの学生対象。プログラムと申込み: <https://medsektion.goetheanum.ch/veranstaltungen>。

6月27日～29日:バート・ボル医学セミナー、ドイツ・バート・ボル。医師、薬剤師、治療師、自然療法士、看護師、医学生対象、対面とオンライン。テーマ:栄養、食品不耐症、代謝、マイクロバイオーム、農業、呼吸、身体化、薬草(オキシサリス、プルモナリア)。情報と申込み: www.medseminar-bad-boll.de。

7月15日～21日:第5回キリスト衝動セミナー、アルゼンチン・ルイス・デ・モントーヤ。「人間の悪との対峙」、ミヒャエラ・グレックラ、ジョアン・トルンスキー、クラウディア・マッキーンによる講演。プログラムと申込み: <https://t1p.de/m2onp>。

7月30日～8月2日:インドネシア・アントロポゾフィー会議「誰も取り残さない:持続可能な個人および共同体のウェルビーイングを目指して」、インドネシア・バンドン。ミヒャエラ・グレックラとジョアン・オーンが参加。詳細は後日公開予定。

8月6日～10日:「The Arc of Becoming: Medical and Pedagogical Support in the First Phase of Life」 「成り立ちのアーカ:人生の最初の段階における医学的および教育的サポート」、英語。アメリカ・ニューヨーク州スプリングバレー。北米の医学部門および教育部門のメンバーによる共催。詳細と連絡先:Christa Lynch care1conference@gmail.com。

8月16日～23日:国際アントロポゾフィー医学ゼミナール(IPMT)、スロバキア・バンスカ・シヤヴニツァ。講師:マティアス・ギルケ、アルミン・フォーゼマン、カーリン・ミヒャエル、ヤナ・バニコヴァ他。詳細と申込み: <https://www.ipmt.sk/english>。

8月16日～23日:Medical Section Summer School 2025 in Emerson College, Forest Row / UK。医学セクション・サマースクール2025、イギリス・フォレスト・ロー、エマーソンカレッジ。詳細と申込み: <https://calendar.emerson.org.uk/events/medical-section-summer-school-2025/>。

9月5日～8日:Teach The Teachers “Freedom and Destiny: Exploring them through Clinical Cases and Biographical Questions”教える人を教える「自由と運命:臨床研究とバイオグラフィーの問いかけを通して探求する」。会議言語:英語。詳細は後日公開予定: <https://medicalsection.goetheanum.ch/events>。

9月9日～14日:医学セクション国際年次会議「医学術拡張の基礎 - 未来の力としての治療の力」、ゲー

テアヌム、スイス・ドルナッハ。プログラムと申込みは後日公開予定：<https://medsektion.goetheanum.ch/internationale-jahreskonferenz>。

9月19日～21日：アントロポゾフィー医学職業随伴セミナー(BÄfAM)新期開始、ドイツ・ヴィッテン/ヘルデッケ。2027年11月まで14回の週末にわたってアントロポゾフィー医学を実践的に学ぶ。詳細：www.baefam.de。

10月4日から：アントロポゾフィー医学の英語研修、9つのモジュールで2027年9月まで。イギリス・イーストサセックスを拠点に、世界中の医師が対象。講師：マイケル・エヴァンス、ジェームズ・ダイソン、マリオン・デーブス、マティアス・ギルケ、アンナ・ハバード、デヴィッド・マーティン。詳細情報：www.emerson.org.uk/anthroposophic-medicine。

10月15日～18日：言語造形療法と演劇療法の国際専門会議、スイス・ドルナッハのゲーテアヌムにて。詳細は後日公開予定：<https://medicalsection.goetheanum.ch/events>。

10月18日～21日：学校医と園医のための国際研修講座、スイス・ドルナッハのゲーテアヌムにて。詳細は後日公開予定：<https://medicalsection.goetheanum.ch/events>。